

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/shakyo



編集・発行 一季刊
社会福祉法人
横須賀市社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

平成18年
10月
No.109

赤い羽根
共同募金
10月1日▶12月31日

2006
共同募金60年

横須賀が大好き!
2007 市制100周年

この羽根が、あなたの気持ちを届けます。

赤い羽根共同募金に、ご協力をお願いいたします。

www.akaihane.or.jp
http://m.akaihane.or.jp

横須賀市内には、民間の福祉施設や、福祉団体、障害者地域作業所等が、たくさんあります。

もし、そういったところが、市内のあちこちで、それも、いろいろな時期に、それぞれ独自の募金活動を行っていたとしたら…?

協力したい気持ちがあっても、あれこれあって、何を信用していいのかわからなくなりそうです。

共同募金は、みなさんに、そうした混乱をあたえないよう、都道府県単位の共同募金会が、一括して募金活動を行い、各民間福祉団体に配分しようという国で定められた募金なのです。

10/1~
今年もよろしくお願ひします。



共同募金運動は、10月1日から12月31日までの期間、全国一斉に取り組まれます。

今年も、みなさまのあたたかきご支援、ご協力を、よろしくお願ひいたします。

共同募金60年記念ポスタークイズ

下にあるポスターは、何年ごろのものでしょうか？
答えは最終面に掲載しています。



①



②



③



④



⑤

第2期 福祉の輪市民会議はじまりました。

第1期にひきつづいて、市民100人による福祉の輪市民会議が市地域福祉計画および市社協地域福祉活動計画の推進母体として、「健康でやさしい心のふれあうまち」の実現を目指します。

住民一人ひとりが共に生き、共に支え合う社会を具体化するため、地域の中で住民自らができることを考え、進めていく環境づくりとして、各地域における活動状況の情報交換や課題の検討を行います。

今期は3つの課題別検討グループにわかれ、活動を行っています。

第1グループ「福祉の輪の推進の検討」

- 内容
- 福祉の輪のつどいなどイベントの企画・実施
 - 活動PR用ちらし作成・配布
 - 出前トークの企画・実施
 - 地域福祉特区事業の支援・公募・審査 など

第2グループ「地域課題の検討」

- 内容
- 地域別検討部会の運営
 - 課題への支援
 - 地域活動の活性化
 - 潜在的な福祉ニーズと支援 など

第3グループ「井戸端・灯台の検討」

- 内容
- 井戸端づくりの推進(モデル地区認定、PR、事例集作成など)
 - 灯台づくりの推進(イメージ作成と具体化に向けて、モデル灯台選定など)
 - 地域の福祉施設、学校、企業(商店街)との連携 など



7月3日 よこすか福祉の輪市民会議第2期発足式

「第3回 福祉の輪のつどい」開催 参加者募集!!

考えよう! すこやか 子育て 食べること!

「福祉の輪のつどい」は、地域に福祉の輪を広げていくために市民が集まろうという目的で開催されます。福祉の輪市民会議の主催で、今年は「子育て・子育て支援」がテーマです。

最近の事件等でも、子育てと、子育てにまつわる「食」に関する問題は深刻なものになっています。人が成長し、すこやかに育っていくためには、食べることが欠かせません。

そこで、今回の「福祉の輪のつどい」では、「食育」という観点から、栄養学の先生の講演や、グループにわかれ、子育ての中での「食」の現状や、地域での子育ての問題、子育て支援の仕方、アドバイスの仕方などを、市民みんなで考えましょうという内容になっています。

子育て中のお母さん、地域で子育て支援をしている方に限らず、誰もが参加し、一緒に考えられる「つどい」です。

開催日時：11月4日(土) 13時30分から

場 所：市立総合福祉会館5階ホール(参加自由)

講 師：神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 鈴木 志保子 助教授

※1994～97年、京都産業大学が全日本大学女子駅伝対抗選手権大会で4連覇した時に栄養コーチとしてサポート。

現在も多くのスポーツ選手の栄養サポートをしています。

問 合 せ：よこすか福祉の輪市民会議合同事務局

● 市健康福祉総務課 TEL 822-8267 ● 市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 821-1301

横須賀市地域福祉計画にもとづく 平成18年度「地域福祉特区事業」決定！

～地域住民が自らの地域の助け合いプランを策定し、実践します～

住民が自らの地域の中で助け合うプランを策定して実践するモデル事業を公募し、市内のほかの地域にも広がることが期待できるものを「地域福祉特区事業」と認定、その活動を支援しています。平成18年度地域福祉特区事業を公募したところ4事業(4団体)の応募があり、よこすか福祉の輪市民会議・地域福祉特区グループによる審査委員会の審査を経て、次の2事業に決まりました。

事業概要

○福祉コミュニティ 湘南たかとり福祉村 実施団体：湘南たかとり福祉村

湘南鷹取1～6丁目居住者で会員登録(入会金・会費なし)した高齢者、障害者(福祉村会則の表記は「障がいのある人」)、子育て中の親、病弱の人などに対し、同じく会員登録した支援者が有償(680円/時間)で家事・育児に関する生活支援サービスを行う。

○地域による子育て支援、異世代との交流 実施団体：久里浜台「キュービーくらぶ」

毎週金曜日に久里浜台自治会館で乳幼児とその母親を対象に、①昼食をしながら親子交流・情報交換会、②リトミック(参加費300円/回が必要)、③人形劇や講演等の事業を通して子育て支援を行う。

① 第1・第3金曜日11時～13時30分、② 第2金曜日10時30分～12時、③ 第4金曜日10時30分～12時

※リトミック/リズムや音に対する人間の身体的な反応、行動に着目した音楽教育体系。-大辞泉より-

～上町第2地区社会福祉協議会～

めだかつ子

上町第2地区社協では、主任児童委員や民生委員、社会福祉推進委員、ボランティアが協力して今年度の4月から親子の遊び場、仲間づくりの場として“広場めだかつ子”を実施しています。

対象は、主に0～4歳くらいまでのお子さんとその保護者の方で、毎月1回第3金曜日に横須賀サブアリーナの2階で行っています。

内容には毎回工夫をこらし、この日は、パン食い競争や、股の間からのボール転がし、新聞紙を使った玉入れ等ミニ運動会といった雰囲気、参加した子ども達はもちろん、お母さん達も一緒になって楽しんでいました。

会場には、ボランティアが折紙でつくった季節にちなんだ花や動物が飾りつけられ、帰りに持って帰ってもらったり、続けて参加してもらえるように、参加した月には手作りの出席カードにシールを貼ってもらうなど細かい部分にも工夫をこらしています。

また、子どもたちを年齢ごとに分け、赤、青、黄、緑、橙色等の色分けした名札をつけてもらうことによって、初めて参加したお母さんでもお互いに話しかけられるような工夫をしています。

その他にも、「めだかつ子だより」を配布したり、テーマを決めて子育てに関するお話し会を行ったりすることで、お母さんに対しての子育てのアドバイスにも力をいれています。

上町第2地区では、地域全体で子育てをサポートしていくため積極的に取り組んでいます。みなさんの参加をお待ちしています。



※次回の広場“めだかつ子”は10月20日(金)10時から横須賀サブアリーナの2階で行います。

申込みの必要はありません。当日、直接会場へお越し下さい。地区外の方でも参加可能です。

日本の伝統文化ここにあり

〈千貫神輿 老人ホームに参上〉

日本人なら誰でも知っている「神輿」(みこし=御輿)。神輿って見ていても楽しいし、もちろん担いても楽しいですよ。神輿が活躍する祭りの歴史や意味はそれぞれの地域によってさまざまですが、子どもからお年寄りまで、その時期が近くなってくるほど何となくワクワクしてくる人は多いのではないのでしょうか。

横須賀の各地域にも多くの神輿があり、神輿の会や町内会・自治会の人たちに担がれています。それらの中でもひととき大きな神輿があります。その名は、文字通り「千貫神輿」。一貫は三・七五キログラムで、千貫はその千倍ですから、重さは約四トンということになります。

この神輿は「神輿連合横須賀」という神輿の会が中心となり、市内の神輿保存会、同好会、愛好会の皆さんの協力を得て担がれています。実際の重さは量ったことがないか



らわからないとのことでした。それでも、毎年十月中旬に

横須賀中央のメインストリートから米海軍基地までを会場として行われる「よこすかみこしパレード」(主催=横須賀市観光協会)でこの神輿を見ることがある人なら、その大きさと大勢の担ぎ手、掛け声に圧倒されたのではないでしょう。しかも、ほとんどは職人顔負けの手づくり。

八月十三日、その巨大神輿が施設のお年寄りたちに楽しんでもらおうと、ボランティアとして特別養護老人ホーム横須賀グリーンヒル(大天部)

にやってきました。同じ敷地内には、デイサービス施設、ケアハウスもあり、この日の夕方、このお年寄りの施設では毎年恒例の納涼祭だったので、もちろん、お年寄りたちやそのご家族の皆さんには大変喜ばれ、何よりもその大きさに驚かされていたようです。

必要な担ぎ手は約百六十人。交代要員も含めると、その倍以上の人数が必要になります。組み立てと解体にかかる時間は、それぞれ三時間。その大きさ故、人の力だけでは組み立てられないため、クレーンを使います。納涼祭の倍の時間が準備と片付けにかかるわけです。それでも、屋外会場の千貫神輿とは別に、施設内には子ども神輿が登場。納涼祭に出ることができない寝たきりのお年寄りたちのことも忘れていません。担ぎ手の皆さんの心意気は、きつとお年寄りたちに通じました。

神輿は、もともと神霊が渡御するときの乗り物で、現存する記録では、奈良時代の七四九年(天平勝宝一)、東大寺大仏建立のときに上京した宇佐八幡神

の紫色の輿が最初だそうです。現在の日本各地の神社にある神輿は、室町時代以降に製作されたものが多く、近年では地元の人たちが町おこしやふる里づくりのために新しくはじめたものもあります。

神輿連合横須賀の会員は、二十五歳から六十五歳までの三十人。目下の課題は担ぎ手の高齢化だそうです。会員は随時募集しているので、祭り好きの人、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか？まずその大きさを見てみたいという人は、山車・お囃子、神輿など約七十団体、総勢八千人を超える参加者が予定されている「よこすかみこしパレード」(十月十五日(日)十一時～十五時三十分)へ足を運んでみてはいかがでしょうか？



ローンセンター

ローンのことならなんでもご相談ください。

○住宅金融公庫・年金住宅融資、住宅ローン、消費者ローンなど

TEL 046-821-1704 (代) Fax 046-821-4341

平日及び土曜日・日曜日：午前9時～午後5時
(但し、祝日および1月1日～3日、12月31日は除きます。)



TRUbank Mura Fujisawa
三浦藤沢信用金庫
<http://www.shinkin.co.jp/miurafuj>

くらしの相談室

まずはお電話でお気軽にご相談ください。

○毎日の暮らしで困ったことや知りたいこと(金融以外のことでも)
○資金運用やご融資のこと、企業経営のことなど

フリーダイヤル
0120-046-801

中央駅前出張所内
お客様相談室

平日：午前10時～午後7時
土曜日・日曜日・祝日：午前10時～午後5時

ボランティアセンターで福祉教育活動進めます!

■「福祉・ボランティアってなに?」の研修会を行いました

平成18年8月2日(水)・10日(木)・22日(火)の3日間、「福祉・ボランティアって何?」の研修会を開催しました。参加者は、小・中・高等学校の教員などの学校関係者、福祉活動やボランティア活動に興味のある方たち38人でした。研修会では左下のようなチェックリストを使い皆さんで意見を深めました。

どんな活動がボランティアだと思いますか?

ボランティア活動チェックリスト ボランティア活動と思うものに○をつけて下さい	
1	横断歩道を渡るうとしてお年寄りの手を引いて一緒に渡った
2	車椅子でほんの少しの段差が登れない人が困っていたので押してあげた
3	NPO法人を作って海のリゾート整備の活動をした
4	近所の子どもが放課後遊ぶ相手がいなくて、数人集めて空き教室で一緒に遊ぶ活動を始めた
5	外国人のお母さんが日本語を習いたいので、勉強をする子どもを預かった
6	町内で防犯活動をはじめたので、そのメンバーに入った
7	朝学校に行く子どもたちに「おはよう」と声をかけるため、家の門の前に立っている
8	足の不自由なお年寄りが病院に行くのに付き添った
9	食物アレルギーがある子どもに安心して食べられるおやつを考える会に入った
10	障害児の余暇活動がないので、学生が集まり夏休みに交流会を計画し取り組んだ
11	若いお母さんが子どもを抱いて、大きな荷物を持っていたので、声をかけて荷物をもってあげた
12	総合学習で子ども達に戦争の話やおもちゃの作り方を教えた

人に親切にすることをボランティアと言うのだろうか?

1回だけしか行わない活動もボランティアと言うのだろうか?

NPO法人で行う活動もボランティアなのかなあ?

自発的に何かをすることをボランティアと言うのだろうか?

ボランティア活動は難しいことではなく、気が付いたら自分のとなりにあったりすることなので、まずは自分のまわりを見渡してほしいと思います。そこで何かあったら手を差し伸べてほしい…。それがボランティア活動につながります。あまり難しく考えず自分にできることから始めましょう!

■皆さんの活動を応援します! ~学校の先生もぜひご活用下さい~

福祉やボランティアは、どんな意味だろう? 今回の研修会は総合福祉会館で行いましたが、今後は、学校や企業や町内会・自治会など、**さまざまな場所へお伺いしお話をしたい**と思います。特に、最近では小・中・高等学校の総合学習などで福祉やボランティアについて伝える機会などにぜひご相談ください。皆さんの身近なところで、ご要望がありましたら、ボランティアセンターの職員がお伺いしお話をします。お気軽にご連絡ください。(TEL 821-1303)

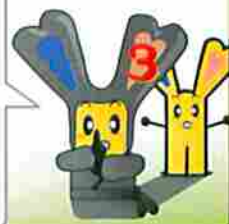
★個人(16名)
秋本正次・秋本トヨ子・石井裕子・秋本保・秋本恭美・關澤友治郎・關澤和子・吉田富士・武内宏・徳永淑子・横川和司・阿部玲子・小林好明・田中廣・赤坂誠司・笹原鶴夫

★団体(4団体)
洒落弁会・ハンドニットの会・ボランティアアグリクラブなつめ・NPO法人車椅子レクダンス普及会横須賀支部

平成18年6月1日
平成18年8月31日
(順不同・敬称略)

「賛助会員募集中」
★お名前とご住所を、表紙にある連絡先へ、電話、はがき、FAX、Eメール等でお伝えください。
三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。
団体会員 一口5,000円
個人会員 一口1,000円
会費は年会費となっており口座は何口でも結構です。

賛助で参上!
社協活動応援団



賛助会員の紹介

この秋だけの特別イベント

お試し体験授業

<p>ジュニア・幼児・ベビークラス 通常授業に入って体験していただきます。 ★回数/4回(週1回曜日指定) ★受講料/幼児・ベビー...5,780円(税込) ジュニア...6,300円(税込)</p>	<p>婦人・成人・アクアウォーキング・遊戯クラス ★回数/4回(フリーチョイス) ★受講料/婦人・成人・遊戯...6,300円(税込) アクアウォーキング...4,200円(税込)</p>
--	--

体験授業受講後入会特典

<p>幼児・ジュニアクラス 特典1 入会金 5,250円 0円 特典2 (指定用品) 水着+バッグ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引</p>	<p>ベビークラス 特典1 入会金 5,250円 0円 特典2 (指定用品) ヘルパー+スイミングキャップ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引</p>	<p>婦人・成人・アクアウォーキング・遊戯クラス 特典1 入会金 5,250円 0円 特典2 (指定用品) コーブル+スイミングキャップ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引</p>
--	--	---

横須賀イトマンスイミングスクール 横須賀市日の出町3-11 ☎046-823-6170

参加しよう! 夏よりホットな秋・冬の行事

福祉バザール2006

- と き : 10月29日(日) 11時~14時頃
- と ころ : JAフーロー武山(駐車場あり)
- 内 容 : バザー、バルーンアート等のアトラクション、やきそば・豚汁等の模擬店
- 主 催 : 武山地区社会福祉協議会
- 問合せ : 武山地区ボランティアセンター
TEL 046-856-2943(月・水・金10~15時)

第18回横須賀三浦地区ふれあい広場

—とどけよう ときめく笑顔—

- と き : 11月11日(土) 10時~15時
- と ころ : 総合福祉会館 5~7階
- 内 容 : 横須賀・三浦地区の知的に障害を持つ方々と来場される皆様との交流を目的とした催しです。各種アトラクション・社会福祉施設の作品販売・喫茶・模擬店・パソコン写真・ゲームコーナー等。
- その他 : 当日はお車でのご来場はご遠慮ください。
- 問合せ : ふれあい広場実行委員会事務局(県立三浦しらとり園内)
TEL 046-848-5257(担当:中村・高橋)

障害者週間キャンペーン

—12月3日~12月9日は障害者週間です—

多くの人に障害を持っている人のことを分かってもらうために、駅の周辺で、呼びかけの印刷物と一緒に記念になる品物を配布します。記念品は、作業所の利用者やボランティアの方が心をこめて作った作品です。

「障害者週間キャンペーン」の日程と配布場所

- と き・と ころ
12月5日(火) 京急久里浜駅、JR衣笠駅
12月6日(水) 横須賀中央駅、汐入駅、追浜駅
いずれも14時~15時
- 主 催 : 障害者週間キャンペーン実行委員会(横須賀市障害者団体連絡協議会、横須賀・三浦作業所連絡会、横須賀市ボランティア連絡協議会、横須賀市社会福祉協議会)
- 配布用作品募集と準備、配布ボランティア募集
詳しくは、よこすかボランティアセンター
(TEL 821-1303)にお問い合わせください。

高次脳機能障害講演

&シンポジウムIN横須賀

—第3回 湘南・横須賀地区 横須賀会場—

- と き : 10月8日(日) 13時~16時30分(受付開始12時30分)
- と ころ : 生涯学習センター 大学習室(ウェルシティ市民プラザ5階)
- 内 容 : ① 講演
高屋 淳彦氏(福井記念病院院長)
「精神科領域における高次脳機能障害の実際」
橋本 圭司氏(慈恵医科大学病院)
「高次脳機能障害者のリハビリテーション」
② シンポジウム
医師による対談と当事者家族による話

- 問合せ : NPO法人 脳外傷友の会ナナ
協働事業室(神奈川リハビリテーション病院内)
TEL・FAX 046-249-2020(受付時間:10時~15時)
高次脳機能障害とは、交通事故や脳卒中などの脳血管疾患で脳を損傷したことによって、言語・思考・記憶・注意などの機能に障害を抱え、生活に支障を来すことです。外見上はわかりづらく、本人自身も自覚がなかったりするため、本人やその家族は、周囲から誤解を受けたり、社会から孤立し、生活への不安を高めるなど共通の悩みを抱えています。

ホンキートンク10周年記念ライブ

- と き : 11月3日(金) 14時~16時
- と ころ : ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
- 内 容 : アフリカ太鼓を中心とした打楽器演奏とダンス。ゲストにプロミュージシャンを招き、たいて! うたって! おどって! ステージも会場もみんなで一緒に楽しい時を過ごしましょう!
- 参加費 : 2,000円(障害者は援助者と二人で2,000円)
- その他 : チケット販売、ゲスト等の詳細は、決まり次第順次ホームページ(<http://honkytonk.chu.jp/>)でお知らせします。
- 問合せ : 福嶋 FAX 046-849-5374
高橋 FAX 046-842-3667

ホンキートンクは、1996年7月に知的障害者を主体とした音楽クラブとして発足。主な活動は、アフリカンドラムとダンスパフォーマンス。さまざまな地域活動への参加・発表を通して、生活の楽しみを感じ自己表現できる場として積極的に活動を展開し、10年が経ちました。



住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

- 本 店ローンセンター 0120-413-357
- 久里浜ローンセンター 0120-472-195
- 上大岡ローンセンター 0120-470-417
- 茅ヶ崎ローンセンター 0120-472-194

SHONAN 湘南信用金庫 ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開 所 月曜日～土曜日 9:00～17:00(日曜日と祝日は休み)
 場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1
 汐入駅から徒歩6分「ショッピングプラザ横須賀」の右となり、
 市立総合福祉会館の4階です。
 電 話 (821) 1303 (825) 0017/FAX(824) 8110
 E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp (お問合せ)
 koza@yokosuka-shakyo.or.jp (講座の申し込み)

ボランティア大募集

- ① 募集団体・よこすか S. C.
 内 容: バasketボールの指導
 日 時: 月1・2回土曜日 9時30分～12時
 知的障害者中心のBasketボールチーム。
 メンバーを理解して、指導してくれる方。試合も有。
- ② 募集団体・ふれあい運動会実行委員会
 内 容: 運動会の設営、誘導、片付けなど
 日 時: 10月15日(日)8時30分～17時
 場 所: 諏訪小学校(雨天順延)
 毎年行っている障害児・者のふれあい運動会のお手伝い。
- ③ 募集団体・介護者の会いずみ会
 内 容: 日帰りバス旅行の付き添い介助
 日 時: 10月20日(金) 8時30分～18時頃
 場 所: 昭和記念公園(雨天場所変更)
 介護者の会の高齢化に伴い、車椅子介助をお願いできる方。
- ④ 募集団体・西洋舎
 内 容: 簡単な体操、ストレッチ、リズム体操の指導
 日 時: 日にち、時間、回数相談
 久里浜にある障害者施設、運動クラブに所属しているメンバーへの指導。
 その他に縫い物のボランティア、知的障害のあるお子さんの自宅から
 バス停までの付き添い、ジャザサイズを指導していただける方を募集。

横須賀市ボランティア連絡協議会講演会

日 時: 10月14日(土) 13時30分～16時
 場 所: 市立総合福祉会館5階ホール
 テーマ: 「横須賀市の児童問題の実状と取り組み」
 ～子ども達をどう守り育てるか～
 内 容: <基調講演> 「児童問題の理解と対応」
 一児童相談所での相談を通じて見えてくる子ども達の実態—
 講師/横須賀市児童相談所 副所長 土橋 俊彦 氏
 <パネルディスカッション>
 コーディネーター 土橋 俊彦 氏
 パネラー/沼田 初恵 氏(主任児童委員)
 鈴木 明 氏(横須賀市立中学校長会長)
 出石 珠美 氏(横須賀市こども健康課)
 東 玲子 氏(弁護士)
 定 員: 約400名
 主 催: 横須賀市ボランティア連絡協議会
 申し込み方法: 電話・ファックス・Eメールのいずれかにて
 よこすかボランティアセンターへ

米海軍横須賀基地イベントボランティア大募集!

内 容: 米海軍横須賀基地主催のイベントボランティア。アースデー、
 フィッシング大会、開放日のお手伝いなど。
 対 象: 18歳以上の勤ける方。免許証、パスポート、
 写真付住民基本台帳カードのいずれかが必要です。
 この活動について関心のある方は、電話・ファックス・Eメール等にて、
 よこすかボランティアセンターまでご連絡ください。

布おもちゃ・布えほん貸出中!

よこすかボランティアセンターでは、布で
 作ったおもちゃ・えほんの貸し出しを行
 なっています。広く皆様に作品を知って
 いただくためにシリーズ化してご紹介して
 います。
 今回は、新作「ちいさなまじよのぼうけん」。
 「ちいさなまじよのぼうけん」は、小さな
 魔女が冒険の途中で、いろんな魔法をかけて
 いきます。
 ●貸し出し期間は、一人・一回体で2点まで一週間借りられます。
 ●作品は、すべてよこすか布おもちゃグループ「ポケット」による
 手作りです。



あなたのパソコンライフを応援 ～知的・系級生活をサポートします!～

★各種講座(フリータイム制)
 シニア・初心者に好評です

★パソコンサポート
 【お電話でお問い合わせ下さい】



★いきがい教室(ボランティア講座)
 65歳以上の方対象無料講座2回(申込制/往復はがきにて)
 第1・3水曜日 午後1:30～3:30(祝日の場合/翌週水曜日)

★Webショップ販売
 【教育ソフト・手作りアクセサリ】



★ピース教室開催も予定しております★

パソコンゼミ

マイ・ブライ

〒239-0807 横須賀市根岸町3-16-2 KSビル3F TEL/FAX: 046-838-0381

営業時間 月～金曜日 9:30～16:00 休業日 土・日・祝日 <http://www.my-bright.co.jp>

✂ お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。

相談日が祝日に当たるときはお休みとさせていただきます。昼12時～午後1時はお昼休みとさせていただきます。

権利擁護相談(弁護士相談)

このようなことで困っていませんか？

● 障害のある子供に財産を残したい

● 障害のある兄弟が借金の返済を迫られている

● 認知症のある親が知らない間に、高価な買物をしていった

高齢の方、障害のある方の権利を守るための相談に弁護士がお答えします。

【予約制】

事前に職員が相談内容をお伺いします。

● 毎月第3水曜日

13時～16時

一人45分です。

予約は、TEL(821)3605

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。

【相談にあたって…】

①使用目的別に資金種類があります。(一般生活費は貸付できません)

②地区担当民生委員・児童委員による相談援助活動が行われます。

③借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。(市内在住の方)

【完全予約制】地区民生委員・児童委員とともに相談内容をお伺いたしますので、来所前に必ずご連絡ください。

● 毎週月・水・金曜日

9時～17時

予約は、TEL(821)1301

地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

● 毎週月曜日～金曜日

10時～16時

福祉機器展示場 電話相談

TEL(824)9436

住宅改造相談

高齢者や障害のある人がより住みやすい環境をつくるための相談に建築士、介護福祉士等がお答えします。

※見積書の作成や業者の紹介・斡旋はできません。

● 毎月第4水曜日

10時～15時

予約は、TEL(821)1301

よこすかボランティアセンターのホームページが新しくなりました。

平成12年から取り組んでいるホームページでの情報提供。この度、ボランティアセンターからお伝えたい内容をいち早く提供できるように新しく作成しました。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc>

共同募金60年記念ポスタークイズ(1頁)の答え



今回のクイズは、ちょっと難しかったですでしょうか？

答えは①昭和22(1947)年、②昭和32(1957)年、③昭和47(1972)年、④昭和53(1978)年、⑤昭和54(1979)年でした。昭和22年に共同募金運動がスタートして以来、ポスターの図柄や人物は年ごとに違いますが、今年のポスターの石原さとみさんは、平成16年から3年目を迎えました。

ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成18年6月1日～8月31日分(敬称略)

(株)根岸工務店、横須賀市消費生活研究会、(福)湘南アフタ

クア協会、創立20周年竜弘会、洋弘会、民謡チャリティショー、

木彫友の会、横須賀市役所教育委員会「はまゆづ会」、秋本トヨ

子、よこすか陶芸友の会はまゆう、成田節子、パーラー風羅巴、ダ

ンスフィンレッド、小関敏子、赤坂誠司、三春映画会若草グル

ープ、富田菜美・鶴が丘社会福

社推進委員、海上自衛隊横須賀上級海曹会、匿名1件

齋藤芳雄、斉藤孝、渡辺訓宏、

徳嶺啓子、浦賀行政センター、手話サークル逸見、三浦藤沢信用金

庫、コールしらさぎ、横須賀市契

約課、宇野智恵、山崎峰崇、柳田

和代、大津地区社会福祉協議会、

内藤梅吉、有川義明、安田カツ子、

山内信子、山本恵子、中里末子、

(株)アテックス、小林真、錦古里

純子、坂本春子、山田ヨシ子、手

嶋たよ子、行基子工子、匿名4件

寄付金 二十一件

物品 三十八件

あとがき

K市に語りを学ぶ塾「W」がある。代表の女性C氏は、四十年近くにわたり、語りの指導をされ、音声表現を学ぶために通う方々は、小学生から高齢者まで幅が広い。この中にいる六十代の女性、数年前、不慮の事故で愛娘を亡くされた当時、悲痛のどん底にもめげず、空ろな眼で語りの発表会に参加させて欲しいと訴える。語りのレッスンが終わるたびに家族全員が彼女を囲むようにして帰る日々が続いていたが、このたびは、永年連れ添った夫に、信じ難い病名を告げられた。しかし、夫は、妻の心境を察し、レッスンに参加するように促すという。夫婦の会話は乏しくなりがちだが、

いつまでも一緒に居て上げたいと心に決めている。愛娘を亡くした悲しみ、寂しさ、そして、いちずの望みを込めて懸命に夫の看護に取り組む日々。ふと、よぎる心の不安、心底に渦巻く感情を「ノート」にしたい、そして、これからのように生きるか、その術を得たい…。彼女にとって「W」は、神仏を超えて、粉れもなく、心の救いの場となっている。

人々の中には、他人に話し得ない悩みや傷をもちつつも、その癒しの場をどこに求めるのか、迷える羊群のような心境かも知れない。だが、この女性のように語りに心の救いと生きがいを求める積極的な姿勢とそれを温かく受容するC氏の人柄に深い感銘を受けた。

(文)